

図書館だより

期末考査前1週間★6月22日(月)～27日(金)図書館の開館を17:30まで延長しています。

期末考査に向けて自習して下さい。

君の「推し本」を熱く語ってくれ!

- 一、自分の「推し本」を見つけよう!
- 二、「自分がおもしろいと思った本」を思いっきり語る!
- 三、自分の「好き」を相手に全力で伝えよう!

ビブリオバトルとは、おすすめの本の魅力を紹介し合うゲームです

雑誌・付録プレゼント

『アニメディア』『Non-no』『Men's non-no』『Number』『音楽の友』『スクリーン』『Mr.PC』などの雑誌のバックナンバーや付録を抽選で希望者に差し上げます

★申し込み日：**7月3日 放課後** 図書館

(期末考査最終日)

いいものあります! ぜひ見に来てください!

ビブリオバトル 発表者(バトラー) 大募集!



<第1回戦>

9月8日(火) 3年生大会

9月9日(水) 2年生大会

9月11日(木) 1年生大会

<第2回戦> 9月15日(火)

<決勝大会>

10月7日(水)

優勝者は12月の高校ビブリオバトル兵庫大会に出場します。

発表希望者は図書館に来て下さい!
ビブリオバトル必勝法・ワークシートを手渡します。自分らしい発表を期待しています。

★新着図書案内★

『いちばんうつくしい王冠』

荻堂 顕/著 ポプラ社



夏休みの初日、目が覚めたあたしは、見知らぬ体育館にいた。周りには7人の少年少女と、着ぐるみを着た謎の人物が発した言葉――「キミたちにはこれから、一本の劇を演じてもらいます」。なぜあたし達はここに連れてこられたのか。そして、

劇が完成した先に待つものとは。その理由と物語の結末が明かされた時、読む者の心も炙り出されていく。

『パルティータを鳴らすまで』

せやま 南天/著 朝日新聞出版



幼い日に実の母と離れ、弦楽器職人の里父のもとで育った中学2年生の時本拓実。10年の委託期間を終え、実母の家へ戻る時間が迫っている。いずれ別れが来ると分かっていた彼は、バイオリンを弾くことだけを好み、淡々と日々を過ごしてきたが…。音楽が導く、里

親との別れの半年を描いた愛の物語。

『あの冬の流星』 講談社

朝倉 宏景/著



一人の少年、一つの家族、二つの十字架、そして無限の愛。旭川で生活を送る佐竹家。昭和気質な父竜司、高校時代から彼を支える母詠美、絶賛反抗期の竜星の4人が日々仲良く暮らしている。竜星の試合を観戦していると、ラフプレーを受けた竜星が背中への痛みを訴えて動けなくなった。最初はただの怪我に違

ない、と思っていたが、宣告されたのは余命半年というあまりにも残酷な現実だった。小学生の竜星に事実を告げるか、否か。悩み、惑い、泣き、魂の痛みに寄り添った家族の軌跡。

『라이어ハウスの殺人』

織守 きょうや/著 集英社



お嬢様・彩莉は転がり込んできた莫大な遺産で孤島に来鴉館を建設し、かつて自分の書いた小説を馬鹿にした相手を殺害しようとする。「おまえらがバカにした私の考えたトリックで死ぬ」嵐の気配が近づく中、ターゲットのミステリ愛好者たち(ショーゴ、詩音)、医療関係者(みくに)、刑事(矢頭)、霊能者(真波)、嘘で雇われたメイド(アリカ)が館に集められる。有能メイド・葵の鬼のダメ出しの末、綿密に練られた復讐劇は、成功間違いなしと思われた。しかし、一夜明けると、彩莉が殺した覚えのない死体が転がっていた…。

『風読みの彼女』

集英社 宇山 佳佑/著



僕が恋したあの人は、「風の記憶」を読むことができる。『ガラス雑貨専門店・風読堂』で、アシスタントとして働き始めた二十二歳の野々村帆高。風読堂ではガラス雑貨の販売に加えて、もうひとつ秘密の依頼を受けている。「風読み」の仕事だ。店主の風架さんの力を求めて、今日も悩みと願いを抱えた依頼主が店を訪れる…。爽やかな風が織りなす、ファンタジック・ストーリー！

『あの日のアオハルと、待ち合わせ』

集英社



夏休み直前、高2の泪のもとに、わかまりがあるまま別れた中学時代の親友から手紙が届く。翌日、彼女に会うため電車に飛び乗るが…。なぜか、ほぼ初対面の3人、一気さくで人気者の時任、お城が好きな代々木先輩、家に帰りたくないひなも一緒に行くことになって…!? 道中では思いもよらない出来事が起こる。奈良、大阪、兵庫を駆ける青春ロードストーリー！

『海と初恋と、ガラスのような君の記憶』

相羽 鈴/著 集英社



小樽で暮らす高2の映は、訳あって四姉妹で実家のミニシアターを営んでいる。ある初夏の日、シアターを手伝う映が出会ったのは、いつも同じ作品を観にくる不思議な青年・海里だった。映画をきっかけに親しくなり、小樽の街の名所を一緒にめぐる二人だったが、実は海里には、本人さえ知らない衝撃の秘密があって…。ガラスペンのように青くて脆い、透明な恋の物語。

『マスカレード・ライフ』

東野圭吾/著 集英社



ホテル・コルテシア東京で開催されることになった、『日本推理小説新人賞』の選考会。当日、文学賞受賞の候補者として、ある死体遺棄事件の重要参考人が会場に現れる!? 警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に、新たな活躍をみせる最新作。シリーズ絶好調。

『ハレーション』

森沢 明夫/著 KADOKAWA



離島「子泣き島」で暮らす小学生の拓海は、家の手伝いで釣りに出かけたところ、同級生・涼子の飼った猫が海に転落したのを目撃する。防波堤にいた、親友・風太の父である亮平に助けを求めるも、台風の海に飛び込んだ彼は帰らぬ。成長した拓海は島を出て働かない、あの風太と「偶然」にも再会し…。鮮烈な別れと再会を経て、年に一度の海上運動会が始まる。感涙必至の「絆」の物語。

『最後の一色』上・下 小学館

和田 竜/著



織田信長による天下布武の軍団が日本全土を侵略していくなか、その怪物は戦場にあらわれた。名を丹後の守護大名、一色義員の嫡男・五郎と言った。17歳の青年は、父亡き後の圧倒的不利な状況下で、凄惨な戦闘を繰り広げ、その場にいた全ての人間を恐怖に陥れる…

『龍の守る町』 講談社

砥上 裕将/著



魚鷹が見守る町で、秋月龍朗は最高の消防士だった。五年前のあの日、濁流が町と彼の心に、癒えない傷跡を刻むまでは。現場を追われ、辿り着いた指令室。そこは、同じ痛みを抱える仲間たちと、声だけで命を繋ぐ場所。炎の中から命を救ってきたその手で、男は今、受話器を握る。

『真ん中の子どもたち』 白水社

温 又柔/著



あらゆる境界線をひらく文学。上海に留学し、母の言葉である中国語を学び始めた琴子は、「普通」でない自分を突きつけられて動揺するが…。言語に溶け込む歴史と複雑な境遇を、「私たちの言葉」として未来へ解き放つ。若者たちの上海でのひと夏を鮮やかに描く青春小説。

『I』 道尾 秀介/著 集英社



本作は二つの章から成る物語です。読む順番は自由ですが、その選択により、結末は大きく変わります。どちらかの順番で読むと、二人の主人公を含め、多くの人が命を失います。別の順番で読むと、彼ら(彼女たち)は生き残ります。殺すか、救うか。あなたの選択が、人の生死を決定します。後戻りはできません。

『しっぽのカルテ』 集英社

村山 由佳/著



生きとし生ける、すべての命へ。愛しさあられる感涙の動物病院ストーリー！ 凄腕だけれどボンコツな院長と働き者のスタッフが集うこの病院では、動物も人も、ゆっくり息を吹き返す。瀕死の野良の子猫を見捨てられなかった建築職人の青年「天国の名前」。老犬の介護に悩む、自身も重い病を抱えた女性「それは奇跡でなく」。ほか全六話。

『明治のナイチンゲール 大関和物語』 田中 ひかる/著 中央公論新社



NHK朝ドラ「風、薫る」原案！ 明治時代、「カネのために命まで差し出す賤業」とされていた看護婦。生涯をかけて看護婦の制度化に努めた大関和を描く。

『動物と仕事がしたい！』 河出書房新社



命と向き合って働くとはどういうことか？ 第一線で活躍するプロ14人が語る！ 動物と触れ合う仕事がしたい！ 動物を守る仕事がしたい！ 動物を知り、伝える仕事がしたい！

『虫と仕事がしたい！』 丸山宗利・柳澤静磨/編 河出書房新社



昆虫の世界が多様であるように、そこに関わる人たちの仕事のかたちもとても多様です。好きなことに向きあうとき、本書に登場する人たちの姿が、きつと何かのヒントになるはず。虫と生きていく・昆虫研究者、昆虫館職員、昆虫写真家、仕事のリアルと昆虫の魅力！

『自分を好きなきみが好き』 あやせりんて/著



男?女?LGBTQ+? SOG I?ボーイッシュ女子インフルエンサーと考える、自由な「好き」のありかた。見た目も中身も、なにかも人それぞれだから。見た目で判断されがちな世の中でも、素敵な世界を見つけにいこう